

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

*科目 No.	40208
---------	-------

1. 開設大学	福山大学 生命工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	因島キャンパス			
2. 科目名	瀬戸内海の恵みについて学ぼう					
	学問分野	番号	33 名称 農学(水産学・海洋生物学)			
3. 担当教員	有瀧真人ほか 5 名 生命工学部 海洋生物科学科					
4. 開講期間(曜日) 開講時間	平成 28 年 8 月 18 日(木) 9 時 30 分 ~ 16 時 00 分					
個別開講日	1 回目 8/18	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>9 時 30 分 本学キャンパスに集合 9 時 40 分~10 時 20 分 スクールバス(無料)で因島キャンパスに移動</p> <p>10 時 20 分~11 時 20 分 講義「瀬戸内海の生態系」(担当:山岸幸正) 瀬戸内海は、広くて穏やかな海域と狭くて流れの速い海域が連なるなど、独特の環境をもっています。この授業では瀬戸内海の生態系の特色や、瀬戸内海をフィールドとした調査研究について紹介します。</p> <p>11 時 20 分~12 時 20 分 実習「海産魚類における発育と形態形成」(担当:有瀧真人、南卓志、阪本憲司) 多くの魚類は卵から生まれ親魚へと成長しますが、その間に大きさや形が大きく変化します。この実習では身近なシロギスを使って卵から仔稚魚の発育過程を観察し、どのように「シロギス」になっていくかを把握してもらいます。</p> <p>12 時 20 分~13 時 20 分 昼食休憩</p> <p>13 時 20 分~14 時 20 分 Workshop「チリメンジャコから学ぶ食物連鎖」(担当:高田浩二) 私たちが普段、食卓でいただいているチリメンジャコの漁業で捕獲された生物たちを選別し、観察やスケッチを通して、海の中の食物連鎖について学び、海の環境保全の体験学習をします。(ワークショップ形式で行います)</p> <p>14 時 20 分~15 時 20 分 講義「海洋資源と機能性食品」(担当:倉掛昌裕) 夏にウナギの蒲焼を食べる習慣がありますが本当に健康に良いのでしょうか。また、食べた後に捨てられてしまうカニ殻には多くの生理機能が詰まっています。この授業では海の生物からの新たな食品の開発とその栄養機能などについて解説します。</p> <p>15 時 20 分~16 時 00 分 スクールバス(無料)で本学キャンパスに戻り、そこで解散</p>					
	7. 受講料	無料				
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 別途負担費用なし					
9. 開講条件※1 ○あり・ない	① 最少開講人数(5 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 6 月末 (7 月 15 日(金)以前の開講科目は 3 月末まで/7 月 16 日(土)以降の開講科目は 6 月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 集合場所:福山大学 本学キャンパス 大学会館(27 号館)玄関前					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.fukuyama-u.ac.jp/cmp/cmp-commute/access.html を参照してください。集合・解散場所は本学キャンパスとなりますので注意して下さい。					

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。